

新帝釈川発電所の営業運転開始について

当社は、平成15年5月から新帝釈川発電所の建設を進めてまいりましたが、本日、営業運転を開始しました。

1. 発電所概要

所在地	(発電所) 広島県神石郡神石高原町 (ダム) 広島県庄原市東城町及び神石郡神石高原町
取水河川	高梁川水系帝釈川
発電方式	ダム水路式
最大出力	11,000kW
最大使用水量	10.0m ³ /s
有効落差	129.0m
総工事費	約145億円

2. 発電所の特徴

- (1) 当発電所は、帝釈川ダムの未利用落差の有効活用を図るため、帝釈川発電所(最大出力4,400kW)を再開発して新しい発電所を建設したものです。なお、既設帝釈川発電所は、規模を縮小(出力2,400kW)して運転を継続しています。
- (2) ダム周辺は、国指定の名勝および比婆道後帝釈国定公園内に位置することから、自然改変を極力少なくし、周辺景観と調和するよう、設計、施工両面での配慮を行いました。
- (3) 発電所の工事にあわせて、既存のダム(大正13年完成)に洪水吐を増設するとともにダム下流面へコンクリートを打ち増すという技術的に前例のない工事を実施しました。

3. 主要経緯

平成11年11月24日	地元へ建設申し入れ
平成13年9月7日	電源開発基本計画に組み入れ
平成15年5月12日	工事計画届提出・着工
平成18年6月30日	営業運転開始

【添付資料】

- ・計画概要図

計画概要図

